

教具の中から、「生活教具」と「言語教具」を少し詳しくお伝えしたいと思います。

生活教具

生活教具では、子どもが自分の力で生活をする「実際生活」の練習をします。食べること・片付けること・掃除をすることなど、日常に必要なことを自分の力でできるようになることは、子どもが毎日の生活を自分で喜んでできる「幸せ」につながります。

2 歳児



着衣枠(ボタン)



物の開閉



物のあけうつし



鉛筆をとく



みつあみ



織紙

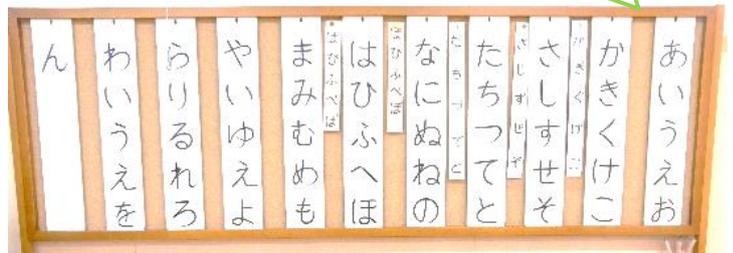
言語教具

言語教具には、話し言葉に関するものと書き言葉に関するものに分かれています。話し言葉を豊かにする最初の段階は、言葉遊びです。手遊びや読み聞かせ歌遊びなど、大人の真似をしながら、言葉を覚えていきます。ゆっくり・はっきりと話をするのが望まれます。

0 歳のころから優しく丁寧な語り掛けをしていくことが大切です。書き言葉は真似して自然と覚える話し言葉とは違い、記号で意味を伝える文化的なものです。一音一語音節分解することから始めていきます。

あひるのえんぞく、あいうえお、
あいうえお、あいうえお。
あ・い・う・え・お!

かべ文字



絵カード



上綴かなくら

参考文献『モンテッソーリ教育』友好学園「深草子どもの家」後援会編